

2019年6月21日
一般財団法人東京マラソン財団



東京マラソン2020に関するお知らせ

本日 [6月21日(金)]、一般財団法人東京マラソン財団 2019大会年度第2回理事会にて、東京マラソン2020の大会要項が決定いたしました。
あわせて東京マラソン2020関連について、下記の通りお知らせいたします。

記

【東京マラソン2020について】

- 東京マラソン2020大会要項 [資料1](#)
- 東京マラソン2020/メインビジュアル [資料2](#)
- ランナーエントリー・2019大会からの変更点 [資料3](#)
- 東京マラソンを通じたサステナビリティへの取り組み [資料4](#)
- 東京マラソン2020 オフィシャルパートナー（協賛社）について [資料5](#)
- 参考資料
東京マラソン2020チャリティ寄付金及びチャリティランナー募集チラシ [資料6](#)
東京マラソン財団スポーツレガシー事業のご報告及び実施予定などについて [資料7](#)

東京マラソン2020大会要項

- 大会名称 東京マラソン2020(英文名: Tokyo Marathon 2020)
兼 マラソングランドチャンピオンシップファイナルチャレンジ
～東京2020オリンピック日本代表選手選考競技会～
兼 アボット・ワールドマラソンメジャーズ シリーズXIII
- 主催 一般財団法人東京マラソン財団
- 共催 公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都、フジテレビジョン、産経新聞社、
読売新聞社、日本テレビ放送網、東京新聞
- 後援 (予定) スポーツ庁、国土交通省、観光庁、特別区長会、公益財団法人日本スポーツ協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、
一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本経済団体連合会、
公益社団法人経済同友会、東京商工会議所、公益社団法人東京都医師会、
公益財団法人東京防災救急協会、東京民間救急コールセンター登録事業者連絡協議会、
公益社団法人東京都看護協会、公益財団法人東京観光財団、東京都町会連合会、
東京都商店街振興組合連合会、東京都商店街連合会、公益財団法人東京都体育協会、
一般社団法人東京都スポーツ推進委員協議会、サンケイスポーツ、夕刊フジ、ニッポン放送、
フジサンケイビジネスアイ、扶桑社、報知新聞社、ラジオ日本、東京中日スポーツ
- 主管 公益財団法人東京陸上競技協会
- 運営協力 公益社団法人東京都障害者スポーツ協会、特定非営利活動法人関東パラ陸上競技協会
- 特別協賛 東京地下鉄株式会社
- 協賛 スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、
ビー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト、第一生命保険株式会社、
セイコーホールディングス株式会社、セコム株式会社、東レ株式会社、
日本マクドナルド株式会社、株式会社みずほ銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、
アサヒビール株式会社、アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc.、
全日本空輸株式会社、株式会社フォトクリエイト、全国労働者共済生活協同組合連合会、
コニカミノルタ株式会社、久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、
株式会社バンダイナムコエンターテインメント、ウェスティンホテル&リゾート、
日本光電、コーユーレンティア株式会社、株式会社シミズオクト、EMTG株式会社
- 種目 (1) マラソン (男子・女子、車いす男子・女子)
(2) 10km (ジュニア&ユース・視覚障害者・知的障害者・移植者・車いすの各男子・女子)
- 開催日時 2020年3月1日(日)
9時05分 車いすマラソン・車いす10kmスタート
9時10分 マラソン・10kmスタート
10時50分 10km競技終了
16時10分 マラソン競技終了
- テレビ放映 フジテレビ系全国ネット

- コース (1) マラソン：東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～高輪～日比谷～東京駅前・行幸通り（日本陸上競技連盟・IAAF/AIMS公認コース）
(2) 10km：東京都庁～飯田橋～神田～日本橋
(記録は公認されない・順位はネットタイムによる)

競技規則 国際陸上競技連盟(IAAF)並びに日本陸上競技連盟競技規則及び本大会規定による。
本大会は、IAAFが認定するゴールドラベルレースであるので、IAAF Road Race Label Regulations (IAAFロードレースラベリング規定) も適用される。また、IAAFの規則により、ドーピング検査を実施する。
車いすマラソンに関しては、世界パラ陸上競技連盟 (World Para Athletics) 競技規則及び本大会規定による。なお、World Para Athleticsの規則により、ドーピング検査を実施する。

制限時間 (1) マラソン：7時間、車いすマラソン：2時間10分
(2) 10km：1時間40分、車いす10km：35分
※制限時間は号砲を基準とする。
※交通・警備、競技運営上、関門閉鎖時刻を設ける。関門以外においても著しく遅れた場合は、競技を中止させる。

定員 38,000名 (マラソン：37,500名、10km：500名)

参加料 (1) マラソン：国内 16,200円、海外 18,200円
(2) 10km：国内 5,600円、海外 6,700円
※事務手数料・消費税込み。

参加資格 以下の条件にあてはまる者で、主催者が出場を認めた者。

(1) マラソン 大会当日満19歳以上

①一般 6時間40分以内に完走できる者。

②準エリート 「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2020」に定める推薦基準に達する者。

③エリート 2019年度日本陸上競技連盟登録競技者で、別途定める参加基準に達する者。招待選手（日本陸上競技連盟が推薦する国内・海外の者）。

④車いす一般 レース仕様車で2時間10分以内に完走できる者。

⑤車いすエリート 2019年度日本パラ陸上競技連盟登録者かつ2020年IPC登録予定者で、大会当日にWorld Para Athletics国際クラスT53・T54でクラスステイタスR または C を所持している者。
なおかつWorld Para Athletics公認大会で、男子1時間50分以内、女子2時間以内の記録を有する者。
招待選手（日本パラ陸上競技連盟が推薦する国内・海外の者）。

(2) 10km 大会当日満16歳以上

①ジュニア&ユース 大会当日満16歳から満18歳までの1時間30分以内に完走できる者。
(2001年3月2日以降、2004年3月1日までに生まれた者)
※東京都が東日本大震災復興支援を目的として企画する事業に参加する者を含む。

②視覚障害者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者。

③知的障害者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者。

④移植者 大会当日満16歳以上 1時間30分以内に完走できる者。

⑤車いす 大会当日満16歳以上 レース仕様車で35分以内に完走できる者。
※車いすのレース仕様車とは大会当日に適用される最新のWorld Para Athletics競技規則に定められた規格の車いすのことを指す。

- 参加受付 (1)方法 大会公式ウェブサイト(<https://www.marathon.tokyo/>)から受付
- (2)エントリー期間 【ONE TOKYOプレミアムメンバーエントリー】
2019年7月 2日(火)から7月19日(金)まで。
【都民エントリー (新規)】
2019年7月22日(月)から7月31日(水)まで。
【一般エントリー】
2019年8月 1日(木)から8月30日(金)まで。
【チャリティエントリー】
個人チャリティ 2019年7月 2日(火)から7月 8日(月)まで。
クラウドファンディング 2019年7月22日(月)から9月13日(金)まで。
アクティブチャリティ 2019年7月22日(月)から9月25日(水)まで。
- (3) 参加者の決定 ONE TOKYOプレミアムメンバーエントリー・都民エントリー・一般エントリーは申込者多数の場合は抽選を行う。
個人チャリティ・アクティブチャリティは先着順。
クラウドファンディングは寄付金額の総額に応じて決定。
- (4) 入金 当選者は指定期日までに参加料の入金手続きを完了すること。
※ONE TOKYOプレミアムメンバーエントリーは東京マラソン財団公式クラブ ONE TOKYOプレミアムメンバーが対象。
※都民エントリーはエントリー期間中に東京都居住者が対象。
※「RUN as ONE - Tokyo Marathon 2020」の概要は大会公式ウェブサイトを参照。
※エリート・車いすエリートの参加受付は12月から行う。

- 表彰 (1) マラソン
- ①総合：男女各1～3位
②車いす：男女各1～3位
③RUN as ONE - Tokyo Marathon 2020 "Wild Card Award"： 準エリート男女各1～3位
④ Next Generation Athlete Award 2020： 日本学生陸上競技連合登録者男女各1位
※上記各部は号砲からのグロスタイムで表彰を行う。

- (2) 10km
- ①ジュニア&ユース/視覚障害者/知的障害者/移植者/車いす：男女各1～3位
※上記各部はネットタイムで表彰を行います。

賞金 マラソン・車いすマラソンの競技成績により賞金を別途定める。

ランナー受付 2020年2月27日(木)・28日(金)・29日(土)
東京マラソン2020ランナー受付(会場は調整中)にて行う。
※大会当日は、受付を行わない。

- その他 (1) エントリー規約に定める理由による大会中止の場合を除き、参加料の返金を行わない。
(2) 本大会は、国内の関連するすべての法令を遵守し実施されるものとする。
(3) この大会要項は、東京マラソン2020のものです。



東京マラソン2020／メインビジュアルについて



メインビジュアルのコンセプトについて

職業、年齢、性別、国境を越えて、「走ること」が普段の生活の中に融合していることを、多様なイラストによるアイコンで表現しています。

健康のために走るという人もいれば、愛する人のために走るという人もいる。また自分の記録や限界をどれぐらい超えられるかを楽しみに走る人や東京の街を楽しむために走る人もいる。

そして、走る人を支える人と、応援する人がいる。

「走ること」をいろいろな形で楽しむ人たちがこの東京マラソンという場集ってきます。

キャッチコピーは「Show Your Story.」。多様なストーリーが東京マラソンで走りだすことを表現しています。



今大会よりマラソンの都民エントリーを追加！

東京マラソン2020 [2020年3月1日(日)開催] のエントリースケジュール及びエントリーカテゴリーにつきましてお知らせいたします。

今大会より新たに「都民エントリー」が加わりました。エントリーカテゴリーによってエントリー開始日が異なりますので、事前にご確認ください。

また、東京マラソンチャリティでは、前回大会に引き続きチャリティランナー定員5,000名で実施し、大会での寄付金募集を通して地域社会に貢献します。

エントリーカテゴリー及びスケジュール

■ ONE TOKYOプレミアムメンバーエントリー (定員：3,000名/抽選)

申込期間：2019年7月2日(火)10:00～7月19日(金)17:00

■ 都民エントリー (定員：1,000名/抽選)

申込期間：2019年7月22日(月)10:00～7月31日(水)17:00

※2020大会より、東京都居住者を対象とした都民エントリーを実施します。

■ 一般エントリー (定員：26,370名/抽選)

申込期間：2019年8月1日(木)10:00～8月30日(金)17:00

■ チャリティエントリー

- ・個人チャリティ (定員：3,700名/先着順) ※10万円以上の寄付

募集期間：2019年7月2日(火)10:00～7月8日(月)17:00

- ・クラウドファンディング (定員：300名/寄付金額順) ※10万円以上の寄付

登録・寄付金募集期間：2019年7月22日(月)10:00～9月13日(金)17:00

※期間内に集まった寄付申込の総額に応じてチャリティランナーを決定します。

- ・アクティブチャリティ (定員：1,000名/先着順・法人を含む) ※20万円以上の寄付

募集期間：2019年7月22日(月)10:00～9月25日(水)17:00

※各寄付先団体で受付します。

※アクティブチャリティに参加する寄付先事業については、大会公式ウェブサイトでご案内しております。

<https://www.marathon.tokyo/charity/>

■ RUN as ONE - Tokyo Marathon 2020

準エリート・一般のエントリーについては大会公式ウェブサイトでご案内しております。

<https://www.marathon.tokyo/participants/run-as-one/>

東京マラソン2020エントリースケジュールは大会公式ウェブサイト内でご案内しております。

<https://www.marathon.tokyo/participants/>



2019大会からの変更点

■マイエントリーについて

エントリー登録完了時に自動で「マイエントリー」というウェブページが作成され、エントリー状況・抽選結果等をご確認いただけます。また、当選の場合は参加料のお支払い、参加のご案内確認ならびに記録証の発行を「マイエントリー」から行います。

■都民エントリー（東京都居住者対象）

東京都居住者を対象とした「都民エントリー」を追加します。

■チャリティランナー エントリー方法

チャリティ寄付先団体が法人から継続的支援が得られるように、2020大会から法人チャリティをアクティブチャリティに統合、及び定員数を増加いたしました。また、クラウドファンディングの先着順を廃止し募集期間を延長、かつ個人チャリティと区別し、一定期間に集まった寄付申込の総額に応じてチャリティランナーを決定いたします。

■マラソンの参加料

安全・安心な大会運営のための必要な経費となる警備強化のため、参加料の改訂を行います。
国内：16,200円（税込）／海外：18,200円（税込）

■東京マラソン2020シグネチャーTシャツ（ランナー限定）／全ランナー記念新聞の販売

2020大会より、ランナー受付で配布していた参加記念Tシャツは「東京マラソン2020シグネチャーTシャツ（ランナー限定）」、完走者全員へ記録証と一緒に発送していた完走者新聞は「全ランナー記念新聞」とし、購入希望の方はエントリーの際に購入手続きを行っていただきます。

■2023大会から連続落選者向けの特別抽選（ONE TOKYOプレミアムメンバー及びクラブメンバー限定）

2020大会より3大会連続で落選された方を対象に、2023大会から連続落選者の特別抽選を行います。（ONE TOKYO会員としてエントリーする必要があります。）

【エントリーに関する問合せ先】

東京マラソンエントリーセンター：03-6635-5351（平日10:00~17:00 ※土日、祝日、年末年始を除く）

東京マラソンを通じたサステナビリティ（持続可能な大会運営）への取り組みを推進

1) マイエントリーの導入（ペーパーレス化） **New!**

エントリーした方全員の「マイエントリー」が自動で作成されます。今まで参加ランナーへ配送していた参加のご案内・記録証などは全て「マイエントリー」にてデータでご確認いただけます。

※印刷が必要な場合は各自でお願いいたします。

2) 大会フラッグのリユース **New!**

東京マラソン2019で製作したフラッグ（402枚）をバッグとして再利用します。

障害者雇用の観点から、縫製作業を障がい者就労施設に委託するとともに、

製作したバッグは8月中旬よりジョグポート有明で販売し、収益の一部を

東京善意銀行（東京都社会福祉協議会）に寄付いたします。

※数量・販売価格については8月上旬にお知らせいたします。



3) 手荷物預けなしランナー

スタート地点での手荷物預けを行わず、フィニッシュ後はオリジナルポンチョを着用し、そのままお帰りいただきます。手荷物トラックの台数が減ることで、CO₂排出量の削減に努めています。

*下記カテゴリーからエントリーするランナーが対象、エントリーの際に選択いただけます。

・ONE TOKYOプレミアムメンバーエントリー ・都民エントリー ・一般エントリー



4) 洋服ポストの設置

特定非営利活動法人洋服ポストネットワーク協議会と連携し、「衣類リユースの活動支援」を実施します。この「衣類リユースの活動支援」では、まだ使える

（家に眠っている）衣類をお預かりし、海外の古着マーケットで再び衣類として使ってくれる人の手に届ける「洋服ポスト」の仕組みを導入しています。

【2019大会実績：3,740kg／26,180円 寄付先：東京善意銀行（東京都社会福祉協議会）】



5) 電気自動車・電動バイクの使用

ランナーの先導車両には電気自動車を、危機対応バイク及びベースメーカー指示バイクには電動バイクを採用し、CO₂排出量の削減に努めています。

【2019大会実績：電気自動車1台、電動バイク3台】



6) 植物由来合成繊維の使用

ボランティアウェア、EXPO袋の生地は環境にやさしい植物由来合成繊維を使用しています。



7) 間伐材の使用

給水用の紙コップの素材には、環境に配慮し「間伐材」を使用しています。



東京マラソンを通じたサステナビリティについては大会公式ウェブサイト内でご案内しております。

<https://www.marathon.tokyo/about/sustainability/>



東京マラソン2020／オフィシャルパートナー（協賛社）について

東京マラソン2020〔2020年3月1日(日)開催〕に向け、大会をご支援いただく協賛社（オフィシャルパートナー）についてお知らせします。

記

特別協賛 東京地下鉄株式会社

協 賛 スターツ、山崎製パン株式会社、アシックスジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、

ビー・エム・ダブリュー株式会社、近畿日本ツーリスト、
第一生命保険株式会社、セイコーホールディングス株式会社、セコム株式会社、
東レ株式会社、日本マクドナルド株式会社、

株式会社みずほ銀行、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、
アサヒビール株式会社、アメリカン・エキスプレス・インターナショナル, Inc.、
全日本空輸株式会社、株式会社フォトクリエイト、
全国労働者共済生活協同組合連合会、コニカミノルタ株式会社、
久光製薬株式会社、大和証券グループ、資生堂ジャパン株式会社、
株式会社バンダイナムコエンターテインメント、ウェスティンホテル&リゾート、

日本光電、コーユーレンティア株式会社、株式会社シミズオクト、EMTG株式会社

2019年6月21日現在

最新情報は東京マラソン2020大会公式ウェブサイト内オフィシャルパートナーページにてご案内します。

<https://www.marathon.tokyo/about/official-partner/>



TOKYO MARATHON 2020 CHARITY

チャリティランナー募集!

寄付および



東京マラソン2020の

RUN WITH HEART

走れる幸せを誰かの幸せにつなげよう。



東京マラソンチャリティとは

東京マラソンを通して、チャリティ活動の輪を広げる取り組みです。

寄付 + チャリティランナーとして出走 または 寄付 いずれかの方法でご参加ください。

< 募集スケジュール >

2019年

2020年

Step1

寄付先事業(団体)を選ぶ →裏面の29事業から選んでください。

Step2

寄付のしかたを4つの方法から選び、申込む →下記①②④の決済方法はクレジットカードのみとなります。

① 個人チャリティ

個人で10万円以上の寄付をする

チャリティ公式サイトから応募。

先着順
定員
3,700名

WEB
エントリー

7月2日(火) 10:00
~7月8日(月) 17:00

② クラウドファンディング

クラウドファンディングを利用して合計10万円以上の寄付を募る

チャリティ公式サイトから応募。

寄付金額順
定員
300名

WEB
エントリー

7月22日(月) 10:00
~9月13日(金) 17:00

③ アクティブチャリティ

寄付先事業に直接寄付をする

各寄付先事業(裏面★マーク付)へ直接、お問い合わせ(受付中)。

先着順
定員
1,000名
(法人含む)

寄付先事業(団体)へ
エントリー

7月22日(月) 10:00
~9月25日(水) 17:00

④ 寄付のみ

サポーターになる

チャリティ公式サイトからクラウドファンディングで寄付をすることで、走らなくても興味のある事業やランナーを応援できます。

第1弾
WEB
受付期間
2019年7月22日(月)
~2019年9月13日(金)

第2弾
WEB
受付期間
2019年10月上旬
~2020年3月31日(火)

※第1弾は②クラウドファンディングのランナーを“サポーター”として応援する寄付のみとなります。

Step3

チャリティランナーとして参加手続きをする ※寄付金の他、東京マラソン2020への参加料がかかります。

[税込:国内(日本語)=16,200円 海外(英語)=18,200円]

Step4

ランナー受付を行う 2月27日(木) ~ 2月29日(土) ※予定

Step5

東京マラソン2020 大会当日 3月1日(日) ※予定

「チャリティランナー」での参加について

●チャリティランナー参加登録(出走)は任意となります。●参加資格:「東京マラソン2020」大会当日満19歳以上の方・6時間40分以内にマラソンを完走できる男女●その他、一般の参加者の募集要項・申込規約等に準じます。

WEB
お問い合わせ

東京マラソンチャリティ

<https://www.marathon.tokyo/charity/>

寄付先は、29事業の中から選べます!

★アクティブチャリティ対象事業(団体): 詳細については各団体にお問い合わせください。

東京マラソン2020は、チャリティ事業を通して
国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の
実現に取り組んでいます。



<p>SPORTS LEGACY TOKYO MARATHON FOUNDATION</p> <p>3 健康・福祉 4 教育 8 労働・経済 11 まちづくり ★</p> <p>スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承 一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業-1 ※所得控除または税額控除の対象になりません。</p>	<p>SPORTS LEGACY TOKYO MARATHON FOUNDATION</p> <p>3 健康・福祉 4 教育</p> <p>東日本大震災被災地の育英事業 (岩手県・宮城県・福島県へ分配) 一般財団法人東京マラソン財団 スポーツレガシー事業-2 ※所得控除または税額控除の対象になりません。</p>
<p>公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・ チャリティーズ・ジャパン</p> <p>3 健康・福祉 ★</p> <p>病気の子どもとその家族の滞り施設 『ドナルド・マクドナルド・ハウス』の運営事業 公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン</p>	<p>Special Olympics Nippon</p> <p>3 健康・福祉 10 不平等 ★</p> <p>知的障害のある人たちにスポーツを 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本</p>
<p>JAPAN FOR UNHCR</p> <p>難民を守る。難民を支える。 国連UNHCR協会</p> <p>1 貧困 3 健康・福祉 6 水とトイレ 16 平和 ★</p> <p>紛争で故郷を追われた難民が 安心して生活することができるテントを贈る 特定非営利活動法人国連UNHCR協会</p>	<p>難病の子どもの医療ケア付キャンプ場</p> <p>3 健康・福祉 4 教育 ★</p> <p>難病とたたかう子どもと家族を、 夢の医療ケア付キャンプ場に招待 公益財団法人そらぶちキッズキャンプ</p>
<p>ファミリーハウス</p> <p>3 健康・福祉 ★</p> <p>重い病気の子どもの治療を要する間の 患者と家族への滞在施設の提供とケア 認定特定非営利活動法人ファミリーハウス</p>	<p>JPSA JAWARA BASKETBALL ASSOCIATION</p> <p>3 健康・福祉 10 不平等 ★</p> <p>障がい者スポーツの普及・振興 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会</p>
<p>未来は、つくれる。 KATARIBA Shapes the Future</p> <p>1 貧困 4 教育 10 不平等 11 まちづくり ★</p> <p>災害や貧困等に苦しむ日本の子ども達へ、 心のケアと様々な学びの機会を提供 認定特定非営利活動法人カタリバ</p>	<p>東京都農林水産振興財団 Tokyo Development Foundation for Agriculture, Forestry and Fisheries</p> <p>7 エネルギー 13 気候 15 陸保全 ★</p> <p>「花粉の少ない森づくり」と地球温暖化 防止を目指し、健全な森林を次世代に継承 公益財団法人東京都農林水産振興財団</p>
<p>peace winds JAPAN</p> <p>3 健康・福祉 11 まちづくり ★</p> <p>犬たちの命を救済分ちから救うための 保護・譲渡活動と、災害救助犬・セラピー犬などの育成 認定特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン</p>	<p>Florence 認定NPO法人フロレンス</p> <p>1 貧困 3 健康・福祉 4 教育 8 労働・経済 ★</p> <p>東京23区の障害児保育を希望する すべての家庭に保育の受け皿の提供をする事業 認定特定非営利活動法人フロレンス</p>
<p>AGE -児童労働のない未来へ-</p> <p>1 貧困 4 教育 8 労働・経済 16 平和 ★</p> <p>遊ぶ、学ぶ、笑う。そんなあたりまえを、すべての子どもたちに。 過酷な児童労働から子どもを守り、貧困家庭をサポート 認定特定非営利活動法人ACE</p>	<p>MEDECINS SANS FRONTIERES 国境なき医師団</p> <p>3 健康・福祉 ★</p> <p>紛争に巻き込まれ手足や顔に重傷を負った人々に 専門外科医療を提供 特定非営利活動法人国境なき医師団日本</p>
<p>PLAN INTERNATIONAL</p> <p>1 貧困 4 教育 5 ジェンダー 10 不平等 ★</p> <p>世界の女の子に、生きる力を。 教育や自立を支援して早すぎる結婚にNOを! 公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン</p>	<p>育て上げネット</p> <p>1 貧困 4 教育 8 労働・経済 ★</p> <p>貧困・いじめ・孤食・発達障害、 生きづらいつ子たちを守る 認定特定非営利活動法人育て上げネット</p>
<p>Teach For JAPAN</p> <p>1 貧困 4 教育 ★</p> <p>教育課題の解決のため、独自の選考・研修に通過した人物を 教師として公立学校に配置 認定特定非営利活動法人Teach For Japan</p>	<p>公益財団法人 東京防災救急協会 Tokyo Disaster Prevention & Emergency Medical Service Association</p> <p>3 健康・福祉 11 まちづくり ★</p> <p>防災および応急手当に関する知識・技術の 普及による安心して暮らせる社会の実現 公益財団法人東京防災救急協会</p>
<p>認定NPO法人 かものはしプロジェクト</p> <p>5 ジェンダー 8 労働・経済 16 平和 ★</p> <p>インドで子どもが売られる問題の解決に向けて、 「社会の仕組みを変える」活動と「被害者に寄り添う」活動 認定特定非営利活動法人かものはしプロジェクト</p>	<p>東京おもちゃ美術館</p> <p>3 健康・福祉 4 教育 ★</p> <p>【東京おもちゃ美術館】森の恵みと手仕事体験によって、 親子・祖父母と孫が笑いあえる世代間交流の場を実現 特定非営利活動法人芸術と遊び創造協会</p>
<p>公益財団法人 東京都スポーツ文化事業団</p> <p>3 健康・福祉 11 まちづくり ★</p> <p>都民のスポーツの普及・振興 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団</p>	<p>World Vision ワールド・ビジョン・ジャパン</p> <p>1 貧困 3 健康・福祉 6 水とトイレ 10 不平等 ★</p> <p>アフリカの子どもたちに、 命を救うきれいな水を届ける 認定NPO法人ワールド・ビジョン・ジャパン</p>
<p>認定NPO法人 Japan Association for Refugees 難民支援協会</p> <p>1 貧困 3 健康・福祉 10 不平等 16 平和 ★</p> <p>紛争や迫害から日本に逃れてきた難民へ、 緊急支援を提供 認定NPO法人難民支援協会</p>	<p>全ての家庭に産後ケアを Madre Bonita 認定特定非営利活動法人 マドレボニータ</p> <p>3 健康・福祉 5 ジェンダー 8 労働・経済 ★</p> <p>支援が行き届いていない母や家族へ、 産後ケアの機会提供で社会復帰をサポート 認定特定非営利活動法人マドレボニータ</p>
<p>骨髄バンクの普及啓発とドナー募集支援 白血病の相談や患者への経済的支援 認定特定非営利活動法人全国骨髄バンク推進連絡協議会</p> <p>3 健康・福祉 17 協力 ★</p>	<p>KIDS' DOOR NPO法人 キッズドア</p> <p>1 貧困 2 飢餓 4 教育 ★</p> <p>貧困家庭の高校生や中退者が、安心して勉強し、 食事も摂れる無料の居場所型学習会を提供 特定非営利活動法人キッズドア ※所得控除または税額控除の対象になりません。</p>
<p>KnK JAPAN 国境なき子どもたち</p> <p>1 貧困 4 教育 5 ジェンダー ★</p> <p>カンボジアやフィリピンの貧しくて 学校に通えない子どもたちに教育の機会を 認定NPO法人国境なき子どもたち</p>	<p>認定NPO法人 ゴールドリボン・ネットワーク</p> <p>3 健康・福祉 4 教育 ★</p> <p>小児がん患児・経験者の QOL(生活の質)向上のための支援 認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク</p>
<p>THE NIPPON FOUNDATION 日本財団</p> <p>1 貧困 4 教育 10 不平等 ★</p> <p>児童養護施設や里親家庭のもとで育った 子どもへの奨学金支援 公益財団法人日本財団「夢の奨学金事業」</p>	<p>詳しくはこちらへ https://www.marathon.tokyo/charity/ 東京マラソンチャリティ お問い合わせ事務局 mail info_charity@tokyo42195.org tel 03-4330-8801(平日10:00~17:00)</p>

SPORTS LEGACY Report 2019

東京マラソン財団 「スポーツレガシー事業」のご報告



**SPORTS
LEGACY**
TOKYO MARATHON FOUNDATION

Innovation & Inclusion

未来に遺すスポーツを、今つくる。

近年、スポーツへの期待が高まる中、スポーツそのものが持つチカラにも関心が高まっています。

競技スポーツやレクリエーションスポーツといった枠組みを問わず、

「スポーツ」が起点となって、21世紀の東京そして日本に「明るい未来へとつながるレガシー」を遺していきたい。

そんな想いから「スポーツレガシー事業」は始まりました。「スポーツが後世に遺せるものは何か」について語り合い実践する場を提供することで、

スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承を目指します。

スポーツレガシー事業 公式ウェブサイト ▶ <https://www.sportslegacy.jp>

ご寄付いただいたみなさまより



世界を東京をもっと素晴らしい街にしたい、ランニングを通して実現したいです。

54歳 男性



オヤジの限界を体現し、我が子三姉妹に伝えたい。

我が子三姉妹の将来にとっても、

このチャリティ参加が意味あるものだと思っています。

44歳 男性



先月6月から仙台に住み始めて、復興支援ができればと思い、チャリティ参加いたします。

48歳 男性



みなさまからの沢山の想いを、スポーツレガシー事業の活動を通じて、

「スポーツの夢・広がり・力・礎」を様々な世代に繋げていきたい!と思います。

応援よろしく願い致します!

43歳 女性

スポーツレガシー事業運営委員会のご紹介



委員長

早野 忠昭 Tadaaki Hayano

東京マラソン財団事業担当局長／東京マラソンレースディレクター

東京マラソンチャリティで集まった人々の想いを基盤としながら、「みんなの手で創り出し、つないでいくレガシー」というコンセプトを掲げ、「スポーツが後世に遺すもの」つまりスポーツの「レガシー」の創造と継承を、東京マラソンのミッションとして取り組んでいきます。

東京マラソンらしく、革新的でありながら誰もが参加できるように、「Innovation & Inclusion」を目指していきたいと思えます。私たちの生活が豊かで幸せなものになったと実感できるように、ぜひスポーツレガシー事業を応援してください。

委員



為末 大 Dai Tamesue

元プロ陸上選手

平野 了 Ryo Hirano

日本陸上競技連盟 強化普及部 課長

河野 和久 Kazuhisa Kouno

東京都オリンピック・パラリンピック準備局
スポーツ推進部調整課長

チャリティ・アンバサダーのご紹介



スポーツレガシー事業への寄付を呼びかける「チャリティ・アンバサダー」として、以下の4名が年間を通して積極的に活動を行っています。

写真後列右から

M 高史 さん
(ものまねアスリート芸人)

中村 優 さん
(タレント)

大島 めぐみ さん
(女子マラソン元日本代表)

鹿野 淳 さん
(音楽ジャーナリスト)

写真前列右から

伊藤 静夫
(東京マラソン財団理事長)

早野 忠昭
(東京マラソン財団事業担当局長／
東京マラソンレースディレクター)

COLUMN／チャリティ・アンバサダー 鹿野 淳さんより

東京マラソンEXPO 2019において、スポーツレガシー事業のブース活動で最も印象的だったのは、「どんな活動を支援したいですか?」、「どんなスポーツを支援したいですか?」というアンケートに対する参加者の向かい方でした。僕は音楽業界にいる人間で、割とチャリティに対して音楽シーンは先進的な役割を果たしてきたと思っています。例えば話題の映画「ボヘミアン・ラプソディ」での重要な場面であるクイーンのライブシーンがありますが、あれは1985年にアフリカの貧困救済を目的として開かれたチャリティライブ「LIVE AID」のもので。そうやってチャリティに向かい合う姿勢を音楽やカルチャーは率先して見せたり支援していたもの、特に日本人はそのチャリティ自体を「偽善」とみなしてそっぽを向く時期が長かったと思うのです。その姿勢が全面的に取れたわけではありません。しかし、徐々に「助け合う」「支え合う」「自分が持っている余裕をシェアする」という気持ちに対して素直になっているんじゃないかな?という雰囲気を感じました。前述したアンケートに対して、とても悩んでくれるんです。その悩みとはただただれにしようか悩むのではなく、明らかに「この自分の一票には役割と責任があるんだ」という意識を持って悩んでいるようでした。実際にアンケートに答えてくれる方と何度も話す機会があったのですが、「子供を支える、被災地を支える、外国の恵まれない人たち

を支える、街での環境を支える。これ、全部大事なことで、どれか一つを支えたいとか、重要過ぎて責任を感じるし重いですね」というようなことを言う方が本当に多かったです。僕はそのような考え方がさらに広まったり深くなっていることを証明する場所としてチャリティブースがあったことを、本当によかったと思いました。年々意義が増しているプロジェクトになっていることに喜びを感じました。

今年もチャリティランナーとして外国からやってきた方々は多かったですが、彼らにとっての東京マラソンのエンターテインメント性、つまりは世界に名だたる街を走れる喜びというイメージもさらに強くなっていることを、会話をしている中で強く感じました。本当に年々外国人ランナーが増えているし、その付き添いの方も増えているし、今年のEXPOブースは、ダイバーシティに隣接しているので、何をやっているの?と何人も多かつたんじゃないかと思えます。そうすると、もっと日本や東京を意識させるパフォーマンスや上映などがあってもいいのかな?とは思いました。

そして、本番「東京マラソン2019」開催当日、走っていて強く思ったことが何度かありました。それは「ボランティアに対するボランティア」という人たちが

沿道にいたことです。これは雨が降ったからというのが大きいのですが、具体的に申し上げると、沿道でランナーをサポートしているボランティアの方に後ろから傘をさしたり、そのボランティアの人と並んで応援したり、ゴミを拾っているボランティアではない人という姿を数回見かけました。個人的にはその光景を確認したことが一番、やる気を起こさせてくれました。

走ることから始まり、それを支える人が生まれ、その支える人をさらに支える人が生まれるというのは、幸福の連鎖そのものだと思います。あーいう気持ちにいつだって人はなれるわけじゃないけど、こういう特別な機会があると、自分の中にそういう気持ちがあることに気づかせてくれるじゃないですか?その事自体がとても重要だし、そういう機会になれる東京マラソンは凄いと思った次第です。



夢

強化育成

若いアスリートを強化育成する「ダイヤモンドアスリートプログラム」

主催：公益財団法人日本陸上競技連盟

2020年の東京オリンピック、また、その後の国際競技会に向けて特に活躍が期待されるタレント(才能)を持った競技者(原石)の強化育成を、2015年11月以降サポートしています。

2018-2019 認定アスリート

※氏名(出身都道府県・所属)、種目を掲載しています。写真:©フォート・キシモト



「ダイヤモンドアスリート」第5期(2018-2019)認定式

スター選手育成に向けて主に5つの取り組みを行いました。

1 リーダーシッププログラム

2018年度リーダーシッププログラム
【監修：為末 大】

競技力向上だけでなく、豊かな人間性を持つ国際人育成のための個を重視した育成プログラムの中で、リーダーシップ教育として行っています。2018年度は一般社団法人アスリートソサイエティ、アスリート委員会(第2回より)と協同・連携し、多方面から講師を招いて計4回の研修会を実施しました。

第1回
2018年
11月28日(水)

●トークライブ「国際的なアスリートを目指すには」
ゲストスピーカー：太田 雄貴さん(公益社団法人日本フェンシング協会会長)
進行：為末 大さん

第2回
2019年
1月11日(金)

●講義「君はプロ(professional)ですか？」
講師：西谷 尚徳さん(元プロ野球選手)
●アスリート委員会対話「アスリートとお金」
講師：横田 真人さん(元陸上選手・800m)

第3回
2019年
1月14日(月・祝)

●講義「自身の経験を生かしたメッセージ」
講師：松田 悠介さん(Teach For Japan代表理事)
●アスリート委員会対話「現役時代にしてあげた良かったこと」
講師：加納 由理さん(元陸上選手・マラソン)

第4回
2019年
3月4日(月)

●講義「言葉のちから」
特別ゲスト：萩本 欽一さん(タレント)



©フォート・キシモト

©フォート・キシモト

「ダイヤモンドアスリート」修了生(順不同)

橋岡 優輝<走幅跳>、江島 雅紀<棒高跳>、池川 博史<やり投>、山下 潤<100m、200m>、犬塚 渉<100m、200m>、サニブラウン アプデルハキーム<100m、200m>、北口 桜花<やり投>、北川 貴理<400m>、岩本 武<400m、障害>、平松 祐司<走高跳>、佐久間 滉大<走幅跳>

2 語学研修

海外遠征をより意義のある、収穫の多いものとするため、渡航前に語学研修(通学・オンライン)を必ず実施。現地でのコミュニケーションに対する準備をある程度整えたうえで遠征に臨むことができました。

3 栄養サポート

個々人への栄養チェックや指導に加え、ダイヤモンドアスリートが所属する学校での栄養講習も実施。ダイヤモンドアスリートを中心に、取り組みを「個から地域」へと発展させました。

4 海外遠征・合宿サポート

2018年度(2018年4月~2019年3月)、のべ12名のダイヤモンドアスリート及び修了生をアメリカ合衆国・オーストラリア・シンガポールなどでの海外遠征や合宿へと派遣しました。

5 国内遠征サポート

国内で、各種目における専門コーチのもとへダイヤモンドアスリートを派遣し、トレーニングを行うためのサポートです。2018年度は4名がこのサポートを利用しました。

ダイヤモンドアスリートプログラム・サポーター



謝辞

ダイヤモンドアスリートは高校生や大学1・2年生を中心とした若い選手たちですが、このプログラムに参加していることを誇りとし、積極的に研修等に取り組んでいます。より多くのダイヤモンドアスリートが世界規模の競技会で活躍する一方で、当プログラムの成果をあらゆる場面で発揮できるよう、これからもサポートを充実させていきますので、引き続きのご支援をお願い致します。

北口桜花選手(日本大学)をはじめ、ダイヤモンドアスリート修了生も目覚ましい活躍を遂げています



夢

強化育成

EXCEEDチャレンジプログラム

主催：一般社団法人日本実業団陸上競技連合

世界的な競技会で活躍できるマラソンランナーの育成・強化をサポートします。

3つの事業を拡充しました。 ※運営費の一部にスポーツレガシー事業寄付金を充当しました。

1 第47回全日本実業団
ハーフマラソン大会

開催日：2019年2月10日(日)

場所：山口県

参加者：男子ハーフマラソン 133名
 女子ハーフマラソン 41名
 女子10km 32名

結果：

男子ハーフ

優勝 AMOS KURGAT (中電工) 1:01:06
 2位 PAUL KUIRA (コニカミノルタ) 1:01:32
 3位 大石 港与 (トヨタ自動車) 1:01:33

女子ハーフ

優勝 佐藤 早也伽 (積水化学) 1:09:27
 2位 矢野 菜理 (キャノンAC九州) 1:09:53
 3位 萩原 歩美 (豊田自動織機) 1:10:16



2 実業団連合マラソン強化合宿(2回)

※実業団連合強化委員会の推薦登録競技者による精鋭の選抜合宿

●男子マラソン強化合宿(夏)

実施期間：2018年7月22日(日)～31日(火)

場 所：北海道釧路市

参加者：選手・スタッフ(計14名)

●男子マラソン強化合宿(冬)

2019年1月7日(月)～16日(水)

場 所：鹿児島県奄美市

参加者：選手・スタッフ(計24名)



謝辞

みなさまからのご支援が、マラソン日本記録の更新(EXCEED)にチャレンジする選手たちを強化・育成し、日本陸上競技界を
 発展させる大きな力となっております。今後とも世界の舞台で活躍するマラソン選手育成のために、さまざまな取り組みを実施
 していきますので、スポーツレガシー事業を通じたご支援・ご協力をお願い申し上げます。

3 海外遠征(4大会・11名)

※2017-2018 シーズンの連合主催および主要マラソン、ハーフマラソンにおいて優秀な成績を取った競技者を強化委員会の推薦を受け派遣

●サンディエゴハーフマラソン 開催日：2018年6月3日(日)

結果：

8位 早川 翼 (トヨタ自動車) 1:03:57
 9位 押川 裕貴 (トヨタ自動車九州) 1:04:16
 14位 田中 秀幸 (トヨタ自動車) 1:05:15

●ゴールドコーストハーフマラソン 開催日：2018年7月1日(日)

結果：

4位 松田 安奈 (京セラ) 1:10:52
 6位 林田 みさき (豊田自動織機) 1:12:41
 7位 藤田 理恵 (京セラ) 1:13:59

●グレートノースハーフマラソン 開催日：2018年9月9日(日)

結果：

男子12位 高橋 尚弥 (安川電機) 1:05:41
 女子 5位 堀 優花 (パナソニック) 1:11:14

●シカゴマラソン 開催日：2018年10月7日(日)

結果：

8位 藤本 拓 (トヨタ自動車) 2:07:57
 12位 鈴木 洋平 (愛三工業) 2:12:18

礎

環境整備

ランニングコース整備

主催：一般財団法人東京マラソン財団

ランナーが気軽にランニングを楽しみ、仲間とともに継続できる環境の整備をサポートします。

昭和記念公園に3つのランニングコースを開設しました。

2019年1月26日(土)に園内でウォーキング・ランニングができる「水のコース(2.5km)」と「広場のコース(3.9km)」の2コースを開設しました。続いて3月31日(日)に「森のコース(5.6km)」の開設と、移動距離、ペース、消費カロリーなどの計測・記録ができるRFIDを使用した自動計測システムを設置し、各コースでの利用を開始しました。



▲コース内には自動計測システムに加え、目印となる看板や路面矢印サインも設置。

本格的な始動日となった3月31日には「思いっきりからだを動かそう!」をコンセプトに園内で「Park Fitness Day2019」を開催。できたばかりのコースを活用し、誰でも気軽に楽しめるフィットネスや自動計測システムを使ったランニングの体験会を実施しました。

「Park Fitness Day2019」で
開催されたプログラム

- ・「サブ4」目標ランナーのための12km走
- ・「マラソン完走」教室(講師：大島 めぐみさん)
- ・バランスボール・ヨーガ
- ・親子運動あそび
- ・ノルディックウォーキング体験会
- ・体組成測定会
- ・スポーツマッサージ



謝辞

ついに「いつでもタグを使って記録計測ができるウォーキング・ランニングコース」が完成しました。景色を楽しみながらのウォーキングや、気軽なジョギング、日々のトレーニングとしてのランニング等に、ぜひご利用ください。今後も、公園が「医療費の増大など、社会的課題の解決へとつながる健康拠点」として多くの方に活用されていくことを目指し、本事業を発展させていきます。

広がり

普及啓発

キッズアスレティックス × 東京マラソンスタイル

主催：日本キッズアスレティックス協会（一般社団法人キッズアスレティックス・ジャパン）

子どもたちの「走る・跳ぶ・投げる」を中心としたスポーツ基礎力と陸上競技への関心を高めるサポートをしています。

子どもたちに運動の魅力を伝える2つの取り組みを行いました。

1 小学校と連携した継続的な指導

東京マラソンのコース沿道にある千代田区立九段小学校・千代田区立番町小学校の2校で各6回にわたり特別授業を行いました。

第1回 2018年 9月27日(木)	講師：徳田 由美子さん(テーマ①:基本の運動) 小林 敬和さん、森 健一さん (ジャンプ運動能力測定①)
第2回 2018年 10月25日(木)	講師：君野 貴弘さん(テーマ②:跳ぶ)
第3回 2018年 11月22日(木)	講師：田代 章さん(テーマ③:投げる) 小林 敬和さん、君野 貴弘さん (ジャンプ運動能力測定②)
第4回 2018年 12月13日(木)	講師：大森 盛一さん(テーマ④:速く走る)
第5回 2019年 1月24日(木)	講師：大島 めぐみさん(テーマ⑤:長く走る) 小林 敬和さん
第6回 2019年 2月14日(木)	講師：小林 敬和さん、森 健一さん、鈴木 翔子さん (ジャンプ運動能力測定③) 大島 めぐみさん、徳田 由美子さん(ミニ東京マラソン)



※ミニ東京マラソン…東京マラソンのコンセプト「走る喜び、支える誇り、応援する楽しみ」に基づき、スポーツをする人(ランナー役)・支える人(大会の審判やボランティア役)・観る人(沿道の応援役)の3グループに分かれ、交代しながらそれぞれの役割を体験するプログラム

2 キッズアスレティックスフェスティバル

2018年11月4日(日)、キッズアスレティックスの普及とスポーツレガシー事業の周知を目的に、東京都立砧公園(世田谷区)にて一般参加者に向けた運動プログラムの提供を行いました。キッズアスレティックス種目(ラダースプリント/クロスホッピング/シャトルハードル/ターゲットスロー/トリプルジャンピング/ロディ運動)を自由に体験できるブースを設置しました。同時に「かけっこ教室」も開催し、トップスプリンターが速く走るためのコツを小学生の子どもたちに直接伝授しました。



謝辞

継続的な指導を行った2校からは、「毎回異なるテーマで、児童たちが積極的に取り組めた」「元トップアスリートの指導は今後の授業の参考になった」「こうした機会が毎年でも欲しい」など、多数の好意的な意見をいただきました。この取り組みが単なるイベントで終わることのないよう、指導・運営のさらなる質の向上を図っていきます。

広がり

普及啓発

車いす陸上チャレンジサポート

主催：一般社団法人ウィルチェアアスリートクラブ ソシオSOEJIMA

車いす陸上体験教室に参加した方が、実際に競技を続けられるようにサポートします。

車いす陸上普及を目指して4つの取り組みを行いました。

教室に参加した方に対しては、レーサー(競技用車いす)の貸出や練習参加機会の提供を行うことを通じて、実際に車いす陸上を始め、東京マラソン車いすレースなどの大会に参加できるようにサポートしました。また、それを通じてスポーツを楽しむ障害をもった方々のコミュニティ作りも図っています。

1 車いす陸上体験教室

2018年4月～10月にかけて計6回、江戸川区陸上競技場に開催しました。

2 東京マラソン2019ファミリーラン チャレンジ練習会

2019年1月20日(日)、有明シンボルプロムナード公園内で「東京マラソン2019ファミリーラン」に向けて、同じコースで約10名が車いすマラソンを体験しました。

3 大会出場サポート

- 2018年10月27日(土)東京トライアルハーフマラソン「チャレンジ車いす3kmレース」
 - 2019年3月2日(土)東京マラソン2019ファミリーラン
- 上記2大会において、車いすマラソンの参加者への出場サポートおよびレーサーの貸出を実施しました。

4 東京マラソン財団スポーツレガシー賞創設

2018年度に東京マラソン財団スポーツレガシー事業に開催した大会や教室、そのほかの大会に数多く出場するなどして、最も健闘した選手を讃える「東京マラソン財団スポーツレガシー賞」を創設しました。受賞者には個人に合わせて製作されたレーサーを貸与。2018年度は小学6年生の中村来夢さんが受賞しました。



謝辞

この事業を、障がい者スポーツへの理解促進と車いすマラソンのファン増加、そして2020年の東京パラリンピックを盛り上げていくことにもつなげたいと考えています。車いすに乗っている方はもちろん、乗っていない方にも車いす陸上に興味を持ってもらい、競技として車いす陸上を続けていける環境づくりをこれからもサポートしていきます。

キッズ&ファミリンピック (車いすスポーツ交流イベント)

主催：公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

車いすスポーツの体験・交流イベントを通して障害者スポーツへの参加者を増やすと共に理解・共感を深めることをサポートします。

計6回の車いすスポーツの体験・交流イベントを開催しました。

障害を持つ子どものうち、特に普段スポーツに接点がありません子どもたち(主に小学生以下)およびその家族を対象として、実際にスポーツを楽しむ機会を提供。スポーツへの関心を喚起するとともに、スポーツを通じて交流を図り、ともに楽しむ仲間づくりをサポートしました。

2018年度実施イベント

2018年 8月4日(土)	2018キッズ&ファミリンピックin新潟/ 第7回「2018キッズ・ジュニアふれ愛カップ」 会場：新潟ふれ愛プラザ 体育館 参加チーム数：9チーム(56人)	2018年 11月23日(金・祝)	2018キッズ&ファミリンピックin茨城/ ツインバスケット茨城ねばねばカップ 会場：茨城県立医療大学 体育館 参加チーム数：8チーム(64人)
2018年 9月16日(日)	2018関東車いすツインバスケットボールトーナメント大会 2018キッズ&ファミリンピック紅白戦 ※大会中にデモンストレーションとして参加 会場：横浜ラポール 体育館 参加チーム数：2チーム(30人)	2019年 1月6日(日)	2018キッズ&ファミリンピックin草加/ 第3回そうかフレンズ・ツインバスケットフェスタ 会場：草加市スポーツ健康都市記念体育館 参加チーム数：8チーム(76人)
2018年 10月28日(日)	2018キッズ&ファミリンピックin東京/ 2018バスケットボールフェスティバルinTOKYO 会場：東京都障害者総合スポーツセンター 体育館 参加チーム数：8チーム(73人)	2019年 3月24日(日)	2018キッズ&ファミリンピックin荒川 会場：公立学校法人首都大学東京荒川キャンパス 体育館 参加チーム数：8チーム(109人)



謝辞

キッズ&ファミリンピックは小さな子どもや障害の重い子どもも車いすバスケットボールを楽しめるイベントとして開催しました。全6回のイベントを全国各地で開催することで、障害のある子どもたちが学校や地域の友達を誘って参加してくれる姿も見られ、スポーツを通じた交流の場・ともに楽しむ仲間づくりの場を提供することができました。

キッズアスレティックス × とうほくキャラバン

主催：日本キッズアスレティックス協会(一般社団法人キッズアスレティックス・ジャパン)

被災地の小学校でキッズアスレティックスやミニ東京マラソンの体験プログラムを実施しました。

これまで東京都内小学校で実施していた「キッズアスレティックス」の特別授業を被災地三県(岩手県・宮城県・福島県)でも実施しました。2018年度は各県1校ずつでの試験的な導入となりましたが、今後はさらに実施校を拡大し、この取り組みの定着を図ります。

2018年度実施校

- 2018年9月10日(月)
岩手県宮古市立田老第一小学校
- 2018年9月11日(火)
宮城県登米市立佐沼小学校
- 2018年9月14日(金)
福島県南相馬市立原町第三小学校



謝辞

児童を取り巻く、指導者や保護者の切実な問題や想いを現地で見聞きました。この年代の運動経験がフィジカルリテラシー(身体素養)の向上に及ぼす効果や、適切な運動形態と運動量の検討など研究課題はありますが、まずは継続して復興支援を行っていくべく、今後とも皆さんのご寄付やご関心をいただけるよう努めてまいります。

「東北をスポーツで応援していきたい」というランナーの皆さん、ご支援よろしく願いいたします。

寄付実績(2011~2019大会)

東京マラソン財団 スポーツレガシー事業 スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承	2015大会		2016大会		2017大会		2018大会		スポーツレガシー事業 2019大会				
	304件	291件	274件	412件	20,435,059円	29,710,312円	30,237,470円	41,823,708円	1	415件	58,137,406円		
東日本大震災復興支援事業 被災地の育英事業 いわての学び希望基金、東日本大震災みやぎこども育英基金、東日本大震災ふくしまこども寄附金へ分配	2011大会	2012大会	2013大会	2014大会	2015大会	2016大会	2017大会	2018大会	2	169件	14,018,000円		
	—	—	750件	1,222件	694件	680件	300件	454件	3	301件	29,542,000円		
	6,500,000円	93,505,634円	75,192,098円	104,136,112円	62,634,200円	50,941,000円	22,131,000円	41,160,000円	計	885件	101,697,406円		
	※2011大会(2011年度)、2012大会(2012年度)、2013大会(2013年度)の寄付金については、被災地3県の育英事業以外の使途も含まれます。												
											累計	6,266件	680,103,999円

スポーツレガシーの輪を広げるため、 寄付金事業以外にも 東京マラソン財団独自の活動を進めています。

スポーツレガシー事業チャリティ・アンバサダーである鹿野淳さんに、中央区立泰明小学校・幼稚園で開催された「ミニ東京マラソン」および「泰明マラソン」での子どもたちの様子をレポートしていただきました。



「ミニ東京マラソン」とその先にあるもの

銀座のど真ん中は客寄屋橋にある、日本有数の都市型公立学校「中央区立泰明小学校・幼稚園」。

この地に子どもたちに「走る喜び、それを支える誇り、そして応援する楽しみ」を楽しみながら体感してもらおうと、2019年3月、「ミニ東京マラソン」が開催されました。

そもそもミニ東京マラソンとは何か？それは小学校のグラウンドを使用して、マラソンにまつわる色々なことを体験してもらおう試みのことなのです。

マラソンは今、空前のブームになっていますが、何故、今年の東京マラソンもあれだけの雨模様だったにもかかわらず、沿道を沢山の方々が埋めたのか？何故、大会のボランティアにあれだけ多くの応募が成されるのか？それはマラソンの中に感動、ストーリー、光と影、そして愛情があるからだと思います。一度でも大会を走ってみるとわかるのですが、日常生活の中では考え難い、これだけの長い距離を走ると、どうしても何かにすがったり、助けを求める気持ちが生まれるのですが、マラソンは沿道の方々がその気持ちに最高の視線や鼓舞する掛け声で応えてくれます。沿道に走らされたという言葉をよく聞きますが、あれは綺麗事でもなんでもなく、本当に沿道があつてもつもない距離を「走らせてくれるスタッフの方々もそう。自分が支えられて走ったり、もしくは自分が支える力を求めたことがあるからこそ、多くのスタッフが献身的にランナーを守ってくれます。もしかしら、別に立っていればいいだけの仕事かもしれません。だけど殆どのスタッフは何万人ものランナーに対してずっと声をかけ続け、そして両手が痛くなるほどの拍手を惜しまないのです。

そんな走る喜び(＝ランナー)、それを支える誇り(＝給水所などのボランティア)、そして応援する楽しみ(＝沿道応援)をすべて体験してもらおうというのが、この「ミニ東京マラソン」という試みです。ちなみに3月6日当日は、大島めぐみさんを中心に徳田由美さん、君野貴弘さん、ハニカト陽子さんなど、豪華な元アスリート講師と共に、キッズアスレティックのスタッフ、そして芸人でありながら子どもたちに楽しみながら体を動かすことを教える活動などでも有名なM高史さんなど、沢山のスタッフが子どもたちにミニ東京マラソンを楽しんでもらおうと駆けつけ、積極的に触れ合っていました。

この試みは先ほども申し上げました通り、グラウンドの中で行われます。大都会の中心、というか日本の繁華街の象徴たる銀座のど真ん中の学校の校庭が大きいはずもなく、とてもコンパクトにまとまっているのですが、その中に円形のグラウンドを作り、「ランナーチーム」と「ボランティアチーム」と「応援チーム」に分かれて、それぞれをみんなが全部体験出来るようにする試みです。そしてそれぞれの役割、大切さ、何よりも楽しさを味わってもらおうべく、陸上経験者である多くのスタッフが笑顔で子どもたちをリードしてゆく姿が、とても印象的な1日でした。ある意味「走り合う」というのは、世代や言語を超えた最少限度の道具しか必要のない「裸のコミュニケーション」が計れるものだと思うのですが、子どもたちと大人たちが距離感の近いやり取りをしながら走り合ったり応援し合ったりしている、そのこと自体が彼らの将来になら

か光を灯すことになるんじゃないかな？と笑顔あふれる光景を見ながら思いました。

朝から昼過ぎまで行われたミニ東京マラソン。最初は小学校3、4年生が、その後は小学校1、2年生が、お昼には幼稚園のゆり組とめ組が。そして最後に小学校5、6年生がという風に、分かれて体験してもらいました。それぞれが3チームに分かれ、例えば最初に「ランナー」として校庭を周回しながら走った児童たちが、次は紙コップに運動会で投げる赤白の球を詰めた「給水」をランナーに渡すボランティアになり、その後はコースに沿って旗を振ったり声援を送る応援隊として奮闘するといった風に、全部をみんなが体験しました。

興味深かったのは、年齢が若ければ若いほど、その全部の行為を遊びとして受け取ること。そして年齢が上がるごとに、それがどういう意味なのかを知りたがったり、最初は恥ずかしがったりしながら、でも努力して上手くやろうとしたり奮闘していたこと。幼稚園から小学校の8年間という掛け替えのない年齢層の子どもたちが見せてくれたのは、それぞれの前向きな興味そのもので、それをミニ東京マラソンというシステムは見事に汲み取っていました。講師となるスタッフも、給水をする子どもたちに「こうやってコップの下を支えてランナーに渡すと、水がこぼれ難い取りやすいんだよ」とか、大人やプロのアスリートでも知りたがる知識を自然と子どもたちに伝授し、それを頑張ってみんなが実践するという、ただのなになにに風だけではない本格的なアドバイスが随所に混ざっていました。その結果、本格的なランにまつわる勉強会になっているという、笑顔と共に多くのことを学び遊びに楽しめ合う会になりました。

「ミニ東京マラソン」を経た3日後の土曜日、小学校と銀座の街が一体となって取り組んでいる恒例イベント「泰明マラソン」が実施されました。これはミニ東京マラソンのように校内を走るだけではなく、警察のサポートなども借りながら「みゆき通り」「外堀通り」「コソド通り」などを経た上で再び校内に帰って来るという1周約1kmコースをみんなで走り合う、銀座を股にかけた都市型ランニング大会です。東京マラソンの30km地点としての名物交差点でもある銀座四丁目にもほど近い場所で、小学生が3つの学年に分かれて走り合う大会。今回は大島めぐみさん、徳田由美さん、君野貴弘さんと共に、なんと元浦和レッズ&日本代表の鈴木啓太さんまでが駆けつけてくれ、子どもたちと一緒に並走しながらエールを送り続ける熱い大会となりました。

朝早くからたくさんの方々のボランティアが集まり、ランニング動線の確認や今回の大会の意義などの説明を学校の先生から受けていました。そもそもこの大会の意義は・・・

- ・自分の体力に関心を持ち、その向上に取り組む姿勢を育てる。
- ・ねばり強くやり通す信念や態度を育てる。
- ・健康維持、体力の向上を図る。

という3つのものでした。ネットなどの普及で世の中のことを確認することは随分と楽な時代になりましたが、だからこそ自分のことが見えにくくなっているかもしれない。そんな時代の中で東京の街の空気や風と一緒にやりながら、自分の力を振り絞った中で

何が見えて、何を知れるのか？そんな貴重な機会があることをたくさんのご両親の方々も喜んでいたので、ボランティアが集まった方々以外にも、学校の入り口にたくさんのお手をされる大人の方々が集まり、大盛況の中で泰明マラソン大会は始まりました。

まずは小学校3、4年の中学年による1000m走。照れている児童もいたり、謙遜しながら走る児童もいたり、だけどもみんながみんなひたむきにゴールを目指す姿が印象的なランでした。この年代は一生懸命頑張るということの中に、周りからの自分の見え方を意識するという自我のようなものが混ざり、とても複雑な感情が芽生えてゆく、ある意味で思春期の葛藤に目覚め始める頃だと思うのですが、その葛藤と闘うように走り続ける児童の姿に、朝早くから駆けつけた多くの方々も感動をもらっている様子でした。

そして次は小学校1、2年の低学年による900m走。彼女らはもう、最初からやる気満々、目を光らせながら走ることも競うことも応援されることもすべてを楽しみまくって、銀座の街を意気揚々と駆け抜けて行きました。途中で疲れた児童はその気持ちを隠さずに表情に出します。するとその横にはサポートするゲストランナーがいたり、自宅で作ってきた旗を振りながら応援するお父さんやお母さんがいたり、その沢山のエールをもらって、再び元気が蘇ってはゴールを目指す姿がとても印象的なランでした。

最後は学校の代表格でもある小学校5、6年による高学年。すでに身長が170cmを超える少年もいたり、大島めぐみさんが「去年から素晴らしい走りをする児童もいて、彼女が今年どう成長しているか、楽しみなんです」と目を細める児童もいたり、個々のセンスや才能の片鱗が見え始める世代ならではの走りが随所で見られました。所謂反抗期なのでしょう？スタートする前はやる気のない素振り、友達をからかう素振りを見せたりする児童もいましたが、走り始めるとそういう児童こそが、一番ひたむきに前を向いて走る、その姿に本当の感動を貰うことも多く、この泰明マラソンが彼女らにもたらすもの大きさを教えてもらった気がしました。

銀座の街にそろそろ人手が出てきた午前10時過ぎ、今年の泰明マラソン大会は終わりました。

校内を走るミニ東京マラソンで「走る喜び、それを支える誇り、そして応援する楽しみ」を身体で会得し、銀座の街を走り抜ける泰明マラソン大会で「走らせて貰う喜び、それを支えて貰う誇り、そして応援して貰う楽しみ」を心で感じ取った多くの児童は、走り合うことがなんなのか？という一番大切なことを掴んだことと思います。その姿はとても勇ましくも愛しかったです。



2019年度 「東京マラソン2019」におけるみなさまからの寄付金によって実施する事業です。

スポーツレガシー事業-1 スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承



ダイヤモンドアスリートプログラム 2015年度～
公益財団法人日本陸上競技連盟

世界を舞台にリーダーシップを発揮し、子どもたちの憧れとなるようなスター選手
の育成をサポートします。

EXCEEDチャレンジプログラム 2018年度～
一般社団法人日本実業団陸上競技連合

世界的な競技会で活躍できるマラソンランナーの育成・強化をサポート
します。



ランニングコース整備 2016年度～

ランナーが気軽にランニングを楽しみ、仲間とともに継続できる環境の整備をサポートします。



キッズアスレティックス × 東京マラソンスタイル 2016年度～
日本キッズアスレティックス協会(一般社団法人キッズアスレティックス・ジャパン)

子どもたちのスポーツ基礎力を高めるとともに、陸上競技への関心が高まるよう
サポートします。

車いす陸上チャレンジサポート 2016年度～
一般財団法人東京マラソン財団

車いす陸上体験教室に参加した方が、実際に競技を続けられるよう
にサポートします。



キッズ&ファミリンピック(車いすスポーツ交流イベント) 2018年度～

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

車いすスポーツの体験・交流イベントを通して、
障害者スポーツへの参加者を増やすと共に理解・共感を深めることをサポートします。

スポーツレガシー事業-2 被災地の小学生を対象にしたスポーツ活動による復興支援



キッズアスレティックス×とうほくキャラバン 2018年度～
日本キッズアスレティックス協会(一般社団法人キッズアスレティックス・ジャパン)

9月中旬に、岩手県、宮城県、福島県の小学校の9校にて実施予定。あわせて、現地にて指導スタッフ育成研修会も実施予定。

スポーツレガシー事業-3 被災地の育英事業



被災地の育英事業

いわての学び希望基金、東日本大震災みやぎこども育英募金、東日本大震災ふくしまこども寄附金へ分配。

2020年度 2019年7月2日(火)に募集を開始する「東京マラソン2020」におけるみなさまからの寄付金によって実施する事業です。

「東京マラソン2020チャリティ」での東京マラソン財団「スポーツレガシー事業」が実施する寄付先事業は以下の2事業となります。
ご支援よろしくお願いたします。

スポーツレガシー事業-1

スポーツを軸とした新しいライフスタイルを享受できる社会の実現と継承

- ダイヤモンドアスリートプログラム
- EXCEEDチャレンジプログラム
- ランニングコース整備
- キッズアスレティックス×東京マラソンスタイル
- キッズアスレティックス×とうほくキャラバン
- パラ陸上チャレンジサポート
- ミニ東京マラソン
- キッズ&ファミリンピック(車いすスポーツ交流イベント)

スポーツレガシー事業-2

- 被災地の育英事業
(いわての学び希望基金、
東日本大震災みやぎこども育英募金、
東日本大震災ふくしまこども寄附金へ
分配)

寄付者プログラム

スポーツレガシー事業に寄付をいただいた方には、右記のような寄付者プログラムをご案内して
います。今後も開催予定ですので、スポーツレガシー事業に関する意見交換や交流の機会と
しても積極的にご参加ください。

- ランニングクリニック無料招待
- 寄付金事業の視察・招待
- 関連イベント(陸上競技大会等)無料招待

寄付や事業についての詳細・お問い合わせはこちらから

SPORTS LEGACY

TOKYO MARATHON FOUNDATION

スポーツレガシー事業公式ウェブサイト
<https://www.sportslegacy.jp>

CHARITY
TOKYO MARATHON 2020

東京マラソン2020チャリティ公式ウェブサイト
<https://www.marathon.tokyo/charity/>

TOKYO
MARATHON
FOUNDATION

発行：一般財団法人東京マラソン財団

チャリティお問い合わせ事務局 E-mail : info_charity@tokyo42195.org / Tel : 03-4330-8801 / 受付時間:10:00~17:00(土日、祝日、年末年始を除く)